

忍恋の妻まじさ

2016年11月26日

大津市伝統芸能会館 主催 能楽公演

能 定家 味方 健

お話 林和清

2016
11/26

[土]14時開演

於 大津市伝統芸能会館

平成二十八年 大津市伝統芸能会館 主催 能楽公演

平成二十八年十一月二十六日(土) 十四時開演(十三時半開場)

お話「定家について」

歌人 林 和清

休憩

能 定家

男の女 式子内親王の霊 味方 健

監督 松本義昭

監修 江崎欽次郎

監修 和田英基

大鼓 河村 大
小鼓 成田 達志

笛 杉 信太郎

所の者 松本 薫

後見 林 宗一郎

河村 浩太郎 味方 團

味方 玄

河村 和晃 河村 晴道
田茂井 廣道 浦田 保親

終演 十七時前

初冬の都、千本の辺り。折からの時雨に北国からやってきた僧が雨宿りをしていると女が現れ、そこは藤原定家が建てた時雨の亭であると教えてその謂れを語りまします。やがて僧が式子内親王の墓所である石塔へと案内し回向を勧めます。女の語るところによると、賀茂の斎院であった内親王は密かに定家との契りを結び、内親王が亡くなるので、定家の執心は萬葉と成り、石塔に這い纏わり今も内親王を苦しめていたと言います。詳しい話を知る女に、僧が素性を尋ねると、自らこそ式子内親王であると明かし、この苦しみから助けてほしいと頼んで石塔に姿を消します。

夜になり、僧が石塔へ向かって法華経の薬草論品を誦すると中から定家葛に縛られた式子内親王の霊が姿を現します。僧の誦経に感謝して、苦患にやつれた自らの姿を恥じらいつつも報恩の舞を見せませんが、再び石塔の葛に埋もれて消えて行くのでした。

王朝歌人として名高い藤原定家と式子内親王。高貴な女性の忍恋から邪淫の妄執に苦しむ姿が凄愴に描かれた大曲を、京都から味方健氏をお招きして舞っていただきます。また公演の前半には、歌人の林和清氏が能「定家」の魅力をご紹介します。



観世流能役者
味方 健

一九三二年京都府京都市に生まれる。十二世林喜右衛門に師事。「道成寺」「望月」「翁」「卒都婆小町」「恋重荷」「鸚鵡小町」「嫉捨」等を披く。「嶺の会」「青嶺会」を主宰。能本をよむ会「役者の読む世阿弥」近畿の歴史・文芸の跡を訪ねてなど、多角的な文化活動にも力を注ぐ。複曲を多く手がける。能の舞台に意欲的に取り組む一方、多くの研究を発表。演技者と研究者を結ぶパイプの敷設に努力。単著に「能の理念と作品」、共著に「能・狂言事典」等。重要無形文化財(能楽)保持者。博士(文学)。二〇〇〇年観世寿夫記念法政大学能楽賞・京都市芸術文化協会賞、二〇一一年京都府文化賞功労賞受賞。二〇一四年京都市文化功労者。



歌人
林 和清

一九六二年京都市生まれ。現在も在住。二十三歳で塚本邦雄に師事。短歌誌「玲瓏」に入会。現在「玲瓏」選者・編集委員。一九九一年第一歌集「ゆるがるれ」にて第十八回現代歌人集受賞受賞。以下、「木に縁りて魚を求めよ」「匿名の森」歌集三冊上梓。ほかにエッセイ集「京都千年うた紀行」など。現在担当中の講座は、「源氏物語」「百人一首」「万葉集」「古事記」をはじめ一か月四十七講座。NHK総合テレビ「百人一首歌人紀行」、KBS京都ラジオ「今朝のみそと文字」などテレビラジオ出演も多数。現代歌人集会副理事長、現代歌人協会会員。

入場料 全席指定

S席 6,000円(友の会5,700円) A席 5,500円(友の会5,200円)

※友の会のチケット販売は大津市伝統芸能会館のみです。各チケット会員様1名につき2枚までです。未就学児のご入場はお断り申し上げます。記載内容は変更になる場合がございます。

チケット発売日

友の会 8月20日(土) 10:00～ 一般 8月27日(土) 10:00～

チケット取扱い

大津市伝統芸能会館 TEL 077-527-5236 堅田駅前観光案内所 TEL 077-573-1000

主催・会場・お問い合わせ

大津市伝統芸能会館 指定管理者 大津PAC&KLPグループ(株)ピーエーシーウエスト
大津市園城寺町246-24 TEL 077-527-5236

URL <http://www.dentogeinokaikan.net/> E-mail info@dentogeinokaikan.net

交通アクセス 京阪電車石坂線「別所」駅より南へ約400m

チラシの使用写真/「定家」味方 健 撮影・見市泰男

